



写真左はウォールナット材、右はハードメープル材

チェア フィンII

一度目にしたら忘れられない、独創的なデザインが特徴の「フィンII」。その洗練されたフォルムと繊細な立ち姿は、木の性質を熟知した職人の卓越した技術によって作り出されます。

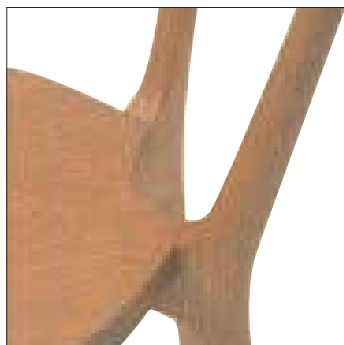
このチェアの個性を際立たせているのが、板座との接合部分を中心に「く」の字にカーブした後ろ脚のフォルムです。これは、前脚と後ろ脚それぞれの方向性を対角にすることで生まれたもの。着座時の加重を受け止める後ろ脚の上下への広がり、板座と笠木にしっかりとした安定感をもたらします。存在感と座り心地の良さを兼ね備えた究極の脚は、ダイニングチェアだけにとどまらない、魅力と可能性を感じさせます。

CHAIR FIN II

DESIGN;SADAO AIDA



写真はタモ材



板座と後ろ脚の深い接合が、強度と造形美をもたらす。

チェアの構造で最も強度が必要とされる板座と後ろ脚の接合部分は、独自の仕口によってしっかりと固定。また、後ろ脚の前方を「持ち出し」にすることで、板座との一体感を形成しています。段差のない滑らかな仕上げにも、熟練の技がいかなく発揮されています。



手仕事だから可能となった、斬新な笠木のフォルム。

魚のフィン(ひれ)をモチーフにした笠木のフォルムは、背中が当たる中央部分の縦幅を広く、板厚を薄く、また、両サイドの縦幅を狭く、板厚を厚くし、後ろ脚の接合部分を「持ち出し」にしています。縦横に織りなす3次元曲面は、卓越した職人技ならではの造形です。

SIZE : W495 D535 H805 SH420
TYPE SELECT : 框目/板目

●MATERIAL SELECT (選べる7つの無垢材)

